

大 学 図 書 館 問 題 研 究 会 京 都

607 京都市山科区大宅山田町34 京都橘女子大学図書館 田北十生気付
(Tel) 075-574-4118 (Fax) 075-574-4124

「職員問題」ミニ研究集会

大学図書館問題研究会主催

日 時：7月5日(土) 11:00-17:00

テーマ：大学図書館における職員問題について

場 所：ハートピア京都(京都府立総合社会福祉会館)

市営地下鉄烏丸線丸太町駅下車すぐ

- 基調報告：「大学図書館における職員問題を考える(配転問題を含む)」(仮題)
 報告1：「業務委託の現状と意味について」(仮題)
 報告2：「国立大学図書館における定員削減と定員外職員の問題について」(仮題)
 報告3：「専門職制度は可能か：
 アメリカの大学図書館における専門職制度から見て」(仮題)

大学図書館問題研究会では、関西地区の支部が中心となって、大学図書館における職員問題に関する研究集会を企画している。職員問題と一口に言っても、問題のありかは非常に広範囲にわたり、全面的な検討は容易でない。この集会では、これまで様々な形で取り組まれてきた「職員問題」を集大成したうえに、大学図書館における専門職制度をいかに実現するかという根本的な問題に少しでも有効な提起をしたいというのが主催者の意図である。

参加費：500円

定 員：70名

申込方法：はがき又はFAXで事前に
申し込むこと

申込・問合先：京都大学総合人間
学部図書館参考調査掛 堤美智子

(〒606-01

京都市左京区吉田二本松町

TEL:075-753-6524

FAX:075-753-6896)

* 2面に関連記事!!!

目	「職員問題」ミニ研究集会…………… 1頁
	「職員問題」ミニ研究集会の開催にむけて (篠原俊夫)…………… 2頁
	支部委員会だより…………… 4頁
次	大図研京都数珠つなぎ® …… 6頁

支部報に関するご意見は最寄の支部委員または編集気付(京都橘女子大学 ☎075-574-4118<FAX 075-574-4124> ♥ kazuodesu@jsn.justnet.or.jp) 田北まで

「職員問題」ミニ研究集会の開催に向けて

篠原俊夫

1. 集会開催の意図について

大図研常任委員会から関西地区で「職員問題」を主題とした研究集会の開催を打診されたとき、窓口となった京都の支部委員会では比較的短時間で、開催受諾の結論を出した。

もともと3月に奈良地区で別の主題でミニ研究集会を開催する予定だったのが、都合で開催できなかったという事情もあり、その意味では小規模でも内容のあるミニ研究集会を開催すること自体には異論はなかった。ただ、「職員問題」という漠然とした「テーマ」はどのようにでも対応できるかわりに、散漫でとらえどころがないという側面もある。

また、特に目覚しい成果はないまでも、大図研をはじめとする各研究団体が過去何度も「職員問題」を前面に掲げた研究集会を開催している。屋上屋を重ねるだけの集会や、各職場のそれぞれの実情報告と不平不満の羅列に終わるだけでは、ミニ研究集会とは言え、全国規模の集会を持つ意味がないという意見が多かった。

「職員問題」をどのように取り上げるべきかについて、常任の意向は特にないということであったが、昨年、札幌で開催された全国大会で愛知支部の酒井信氏の発言を受けて、専門職制度の可能性をめぐるかなり白熱した議論がかわされたことが直接の契機となっていると考えられる。

札幌大会で主として議論されたのは、専門職制度が確立されていないために、専門性を無視した人事配置が強行され、職場の危機的状況が進行しているという現状についてであった。したがって、専門職制度と配転問題が「職員問題」のひとつの柱となり得るという認識では一致している。しかし、今回の研究集会では、特に配転問題に限って、職員問題を検討するのではなく、関西地区の国公立の大学における職員問題をそれぞれの立場から見なおすなかで、普遍的な課題の検討と展望を示すことができればと考えた。

2. 基調報告の意図と配転問題について

まず冒頭の基調報告で現在の「職員問題」をめぐる状況の概観を提示するとともに、個別の報告で直接に取り上げることのできないいくつかの問題点に言及することである。

そのひとつに配転問題がある。関西各支部の支部委員を中心とした討議でも、配転問題が主要な職員問題のひとつであることで認識が一致したことは、先に記した通りである。

しかし、今回報告を担当する京都地区の大学図書館に限定して職員問題を考えると必ずしも職員問題イコール配転問題という捉え方とはならなかった。これは京都地区においては、どの大学でも図書館職員の専門性を配慮しながら、理想的な人事配置を行なっているという意味ではない。折角育ちつつある人材が、図書館とは業務上何の関連もない部署に配転されるという事例は私学を中心にいくらかもある。人事配置について、全学的な合意が必ずしも図書館職員の専門性を認める方向に向かわず、大学全体のより有効な経営を優先する方向に向かうとき、ひとり図書館が専門職制度の確立を前面に掲げて人事の流動化に

抗することはきわめて困難である。そこでは、表面化することなく、深く潜行する形で配転問題は存在する。基調報告は、そのことについても簡単にふれる予定である。

3. 各報告の主題設定の意図について

前述したように、京都の各大学図書館に働く図書館職員の現場から発想したとき、職員問題とはなにかというところから討論した結果、主として私学の図書館現場における業務委託の問題と、国立大学の図書館における定員削減の進行と定員外職員の増加という問題が検討すべき主要な課題として残った。これらは必ずしも新しく生じた問題ではない。ただ問題がより大きく深くなっただけとも言える。業務委託は国公立の各大学で程度の差はあっても拡大しつつある。職員の意識も積極的肯定とは言えないまでも、図書館サービスの水準を一定程度以下に切り下げないためには止むを得ないとする方向に微妙に変化しつつある。むしろ業務委託の積極的導入で専門職としての本来の業務を死守するという意味でその意義を肯定できるのではという考え方も示された。これらの問題は置かれた立場によってもっとも意見のわかれる問題とも考えられるので、できればいくつかの事例を分析したうえでの指針を示すことと、それにもとづいて集会の場で討議を深めることができればというのが主催者側の意図である。

国立大学の図書館現場は第9次の定員削減計画の実施を目前に、深刻化の度合いはさらに深まりつつある。定員外職員の占める比率が増大し、かつての常勤的非常勤職員（事実上のフルタイム職員）に比して、雇用条件は著しく悪化している。単独で生計を維持するには困難な待遇の非常勤職員を無限定に増加させることは本来さげなければならないことである。業務の委託と合理化をもってしても時間雇用職員の最低限の増加は避けられないとすれば、そのような図書館の労働現場でなお希望のもてる仕事のあり方は可能であろうか。当然、その問いはベテランの図書館職員から、時間雇用職員の仕事内容までを含んだものと考えべきである。できればこれらの容易に正解を見いだせない難問に対してもひとつの回答を示し、討論の場に供することができればと考えている。

もうひとつの報告は、アメリカの大学図書館における専門職制度の実態と問題点を検討することで日本の大学図書館における専門職制度の可能性を論じようというものである。

そのなかで図書館員が教員と同等の身分を持つことの意味、研修の意義、専門職と準専門職（パラ・プロフェショナル）の問題等について検討する。

4. 集会の持ち方に関する基本方針について

「職員問題」は図書館サービスの根幹に関わる問題であるだけに、さまざまな形で検討の場がもたれているが、職場の現状の根本的改革に結びつくような画期的な成果を見いだすまでには至っていない。問題が深刻で多岐にわたるだけに今後ともそれは困難な課題であり続けるだろうが、明確に一步前進したというに足る検討は可能なのではないか。

それを可能にするためには、参加者一人一人がこの課題について自分なりの問題と回答を用意したうえで集会に参加し、積極的に発言していただくことが必要である。

幸い会場は京都の中心部で最大120名を収容できる広い会場を確保できたので、全国各地からの積極的な参加を期待している。

(京都大学総合人間学部/しのはら・としお)

支部委員会だより

第9回／於・同志社大学クローバーハウス／4月8日（火）午後7:00～

【主な議題】

- ① 支部報編集内容について（4月号、5月号、6月号）
原稿依頼状況の確認、掲載内容の調整。
- ② 「職員問題」ミニ研究集会の開催について
7月開催に向け、会場及び規模、参加費等を検討。
- ③ 支部委員会の任務分担変更について
川北さんが異動により委員を辞任、後任を京都大学補充、支部報の印刷・発送は堤さんが担当。
- ④ 総会について
総会日程及び議案書（活動のまとめと方針案の討議）
*出席 篠原、竹本、堤、大館、田北

第10回／於・同志社大学クローバーハウス／4月28日（火）午後7:00～

【主な議題】

- ① 支部報について（5月～7月号）
掲載内容の調整、原稿依頼
- ② 支部委員の補充
夏休み中に京大から次年度支部委員の候補者を出す。
- ③ 京都支部財政の現状と問題点について
会費の納入状況と未納者対策、財政と組織担当者の連携、会員の異動確認
- ④ 「職員問題」ミニ研究集会の実施について
プログラム、発表者の確認。費用・収支の検討
広報「大学の図書館」と「図書館雑誌」（6月号）掲載予定
- ⑤ 総会準備
日程 9月に。議案書の討議
*出席 篠原、竹本、堤、大館、中嶋、井上、田北

大学図書館問題研究会近畿ブロック意見交換会の実施

於 同志社大学クローバーハウス／3月26日（土）午後2:00～
「職員問題」ミニ研究集会の実施内容について意見交換を行いました。

小林氏から今月号より支部報編集を引継ぎました。

支部報編集担当者の自己紹介

氏名 田北十生（たきた・かずお）

10番目に生まれたわけでは、ありません。ちなみに長男です。

勤務先 京都橋女子大学 図書館

連絡先 表紙に明示してあります。みなさんの投稿等を心待ちしています。

支部委員会から会員のみなさまにお願い

支部委員会では、総会に向けて、会員の確定をするために、

- ① 会費未納者への納入促進、
 - ② 異動のある会員の把握に努めています。
- 会費が滞納になっている方は、振込をお願いします。また、直接納入される方は、財政担当の中嶋氏あるいは最寄りの支部委員へ納めて下さい。
- 異動が在る方は、至急組織担当の堤氏あるいは、支部委員へご連絡をお願いします。

よその支部報・・・のぞき見page → 山口支部

2月 例会報告

3月例会報告
 日時：1997年2月9日(日) 11時～15時
 場所：JR小郡集会所
 出席者：竹永、松本(兼)、山田、大庭、岡本、町田、弘藤、岡田、宮
 院(兼大・新加入)
 福岡支部より山本(東京女子大・短大)、下塚(福岡女
 大・九州国大)
 福岡支部からおいでくださった3名の方、久々の新会員として
 暖かさん、1年ぶり出席の大庭さんなど、多彩な顔ぶれが盛り

1. 大図研学校第2弾について
 「おぼろげな質問を受けて、より高度(?)なものに集
 中で実験の多かったフレンチと組み合わせて、予
 「RISC1Sの機材がでないだろうか」「インタ
 ーネットが、基本的な環境設定も教えて欲しい
 だ」というのが、本音のところがわからない人も
 多い。この質問、後半はインターネットによる
 意見が出ているが、午後から出席の岡田さん
 だ、午後、岡田さんに来て、あらかじめ解
 説ではなく、我々の知識のある人を対象に
 一紙のパソコンがメールサーバにま
 という岡田さんの意向で、時期は3月半
 ば)、能力別のクラスが望ましいとい
 部長と岡田さんとで話し合ってもら
 ・最低限の知識を得るために、
 ・ポインティング装置やマウス
 ・インターネット参加の手

2. 電気女子大学の電算化
 岡本さんからその後の詳
 り、調査もしその一環と
 かなりがつかない状況
 される次第までには
 の紹介、深出店前
 とりあえずパナ
 見あり、なか

3. 新規会員
 岡本さん
 上り目録、
 りあえず、大庭、
 字、理科大、宇
 大に知り合いのある人。

4. その他
 3月例会：日時 3月16日、
 場所 小郡JR集会所
 テーマ (1) 図書館の情、
 - 異動の時、
 (2) 西日本図書館学会。

大図研インターネット学校のお知らせ

「おぼろげな質問を受けて、より高度(?)なものに集中して実験の多かったフレンチと組み合わせて、予「RISC1Sの機材がでないだろうか」「インターネットが、基本的な環境設定も教えて欲しいだ」というのが、本音のところがわからない人も多い。この質問、後半はインターネットによる意見が出ているが、午後から出席の岡田さんだ、午後、岡田さんに来て、あらかじめ解説ではなく、我々の知識のある人を対象に一紙のパソコンがメールサーバにまという岡田さんの意向で、時期は3月半ば)、能力別のクラスが望ましいとい部長と岡田さんとで話し合ってもら・最低限の知識を得るために、・ポインティング装置やマウス・インターネット参加の手

「おぼろげな質問を受けて、より高度(?)なものに集中して実験の多かったフレンチと組み合わせて、予「RISC1Sの機材がでないだろうか」「インターネットが、基本的な環境設定も教えて欲しいだ」というのが、本音のところがわからない人も多い。この質問、後半はインターネットによる意見が出ているが、午後から出席の岡田さんだ、午後、岡田さんに来て、あらかじめ解説ではなく、我々の知識のある人を対象に一紙のパソコンがメールサーバにまという岡田さんの意向で、時期は3月半ば)、能力別のクラスが望ましいとい部長と岡田さんとで話し合ってもら・最低限の知識を得るために、・ポインティング装置やマウス・インターネット参加の手



ぜひとも個人で
 インターネット
 参加の手引きを
 (共立出版)

2月例会のご案内

日時：3月16日(日) 10:00-13:00
 場所：JR小郡集会所 (0837-2-140) 小郡市駅前口徒歩4分
 1. 西日本図書館学会の専門性について
 2. 福岡支部の活動報告
 3. 大図研学校第2弾について
 4. その他

2月例会報告
 第3回 図書館インターネット学校のお知らせ
 2月例会の報告
 西日本図書館学会
 大図研学校中、TOPICS NOW!

日時 3月16日、
 場所 小郡JR集会所
 テーマ (1) 図書館の情、
 - 異動の時、
 (2) 西日本図書館学会。

Aコース	Bコース
サーバ構築	インターネットアプリの操作
3:00 設定と管理方法	質疑応答
閉校式	

参加希望の方は、参加申込書を3月12日(水)までに送ってください。
 参加申込・連絡・問い合わせ先
 〒755 宇都宮市東台 宇都宮工業高等専門学校図書館 444本館5F
 TEL 0836-35-4965
 FAX 0836-22-7801
 e-mail: sasuki@cccl.ibt.ac.jp

「上」13時30分 - 17時
 「日」9時 - 15時
 大図研学校第2弾(宇都宮市東台)
 インターネット参加への手引き
 3,000円(1日のみ参加は1,500円)

あれば留書のお借しします。
 9日(土)の夜、懇親会を予定しています。(会費3,000円程度)

(→最終ページより「数珠つなぎ」のつづき)

そ 私は掃除が大嫌い。子供の頃から今もそれは変わらない。だから、追いつめられるまで掃除に手が着けられない。追いつめられてどうしても掃除をしなくちゃならないときは、とりあえずがんばる。しかし、掃除を始めてまもなく癡り性の性格が顔を出す。私はなぜかひとつのことに癡る性格のようだ。いやそれならまだいいのだが、ひとつのことのある部分にのみ癡る性格のようだ。大嫌いな掃除でも毎回どこかは必ず丁寧に掃除し、それ以外はほとんど掃除前と変わらないというのが、常である。ちなみに前回掃除をしたときは玄関がめちゃくちゃきれいになった。その前は、階段だったような気がする。こんなふうに、毎回決まった場所ではなく、その時最初に手を着けたところにすべてをかけてしまうようだ。掃除をするスパンが短ければ、我が家は年中ピッカピッカなのだが、なんともいっても私は掃除が大嫌い。一大決心をして掃除をした翌日、私は布団のなかにいる。知恵熱ならぬ掃除熱にうなされる。よって我が家はいつも・・・なのである。

私のヒミツを暴露したところで、今回は国際日本文化研究センターの西川慈子さんです。京大時代から大図研でも大変ご活躍になり、私もレファレンス等でよく相談ののっていたきました。とっても元気で素敵な方です。ご期待ください。

「数珠つなぎ」のルール

①内容は硬軟自由。②原稿量も1ページ程度以上で自由。③執筆者には次回執筆者を指名する義務があります。④指名された人はもちろん拒否権なし。

